

二月読み取りおけいこ⑦（高）

名前（

二月の花と言えば、梅うめ。ということで今日は梅の話です。中国でも梅は愛あいされてきましたが、日本でも古代は花見というと桜さくらではなく梅を見ていたのだそうです。

寒さに耐たえて、まだまだ風も冷たい中でかわいらしく咲く姿はけなげですね。見る人の心にも、春の訪おもてれを告げてくれます。そして、その香り。上品な甘い香りはバラやスイセンとはまたちがうすてきな香りです。まだ嗅かいだことがないという人はぜひ嗅いでみてください。

そして、むかしから梅は実も大切にされてきました。みなさんも梅干しを知っていますよね。塩だけでおいしい保存食になるのですからかんたんです。最近はジップロックでつけるやり方もあり、とてもおいしくつかるので、一度みなさんもためしてみてはどうでしょう。白いごはんにびつたりの、しかも体によいむかしからの一品です。

それから、「梅肉エキスばいにく」。これは梅をことことにつめたもので、ものすごくすっぱいのですが、おなかが痛いときなどになめるとよくきく黒い常備薬じょうひやくでした。

CMでもやっていますが、梅酒もつくることができます。みなさんは未成年なので飲むことはできませんが、もしかするとこれを大好きなおうちの方がおられるかもしれませんね。梅ジュースもさとうだけで作れます。

京都市内にも北野天満宮や梅の宮神社、御所、植物園など梅の名所がありますが、少し市外に足をのばしてみると、青谷の梅林や月ヶ瀬つきがせの梅林などもあります。

四月のお花見もいいですが、一足早く、古代人の気分を味わって、梅のお花見にでかけるのもいいかもしれませんよ。梅以外にもきつと新しい発見があることでしょう。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② 梅から作れるけれど、みなさんがまだ飲めないものは何ですか？

③ 梅と塩で何を作ることができますか？

④ 梅をにつめると何ができるのですか？

⑤ 梅肉エキスは何にきくのですか？

⑥ みなさんにも飲める、梅からできるものは？

⑦ ジップロックって何でしょう？

⑧ つけもの石（ ）ジッパーつきビニル袋（ ）梅干しのもと（ ）ふきん

⑧ 梅の花は見るだけでなくぜひどうしろと書いてありますか？

（ ）味わえ（ ）嗅げ（ ）梅干しを作れ

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ）月ヶ瀬や青谷は京都市内ではない。

（ ）古代人は薬屋で梅肉エキスを売っていた。

（ ）梅の宮神社は京都市内ではない。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

